

## イベントのお知らせ



7月27日(日)、函館市地域交流まちづくりセンター主催の「まちセンまつり 2025 (旧 NPO まつり)」が開催されます。

道南の NPO や市民活動団体などが集い、活動体験やステージ、物販などが行われ、毎年たくさんの人が参加しているイベントです。



詳しくはこちら



函館市地域交流  
まちづくりセンター

Hakodate Community Design Center

今年は、道内避難者心のケア事業の一環で、このイベントに参加します！

日頃、みなさまからお話を伺っている相談員が終日会場におりますので、会って話がしたい、対面で相談したいという方は会場までお越しください。

また、さまざまな市民活動に出会える楽しいイベントなので、お近くまで来られたついでにでも、お立ち寄りください。そして、道南にお住まいのみなさまとお会いしたいので、お越しの際は、北海道 NPO サポートセンターブースにお声掛けください。  
※対面相談は前日 26 日(土)もお受けします。前日希望の方は事前にご連絡ください。

会場ではこんなことをしています！



3がつ11にちを  
わすれない  
ためにセンター



今年度、北海道 NPO サポートセンターでは、せんだいメディアテーク(宮城県仙台市)が開設する「3がつ11にちをわすれないためにセンター」(通称：わすれん！)との協働で、アーカイブ(記録保存・活用)企画をすすめています。

わすれん！が取り組む「震災の記録・市民協働アーカイブ」に、北海道から参加するための第一弾が、この「まちセンまつり 2025」。一人ひとりの記憶が、記録になります。

東日本大震災後の「ごはん」にまつわる写真とふせんは、当時の人々の暮らしぶりを伝えます。そこから思い起こされる胆振東部地震での経験を、新しいふせんに書いて、教えてください。



9月6日ブラックアウトのなかで



わすれん！  
はじまりのごはん

わたしと東日本大震災 ― 来場者が、さまざまな問いからできごとを振り返り、書き記します。



「インタビューシート」記入コーナー



わすれん！  
インタビューシート

ほか、震災を振り返る、わすれん！DVDの視聴・ご紹介など。

ご記入いただいた内容は、ウェブサイトや展示・研究等で公開・活用する場合があります。都合により一部編集して公開する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

2025(令和7)年度 北海道道内避難者心のケア事業

実施主体 北海道

受託者 NPO法人北海道NPOサポートセンター 担当/金榮、菅原

問合せ メール info@hnposc.net

電話 011-200-0973

企画協力  せんだいメディアテーク  
sendai mediatheque

イベント前日・当日の連絡も、

011-200-0973 まで。

※担当者のスマホに転送されます。

電話対応時間

26日(土) 14:00~17:00

27日(日) 9:30~14:30



東日本大震災後の「ごはん」にまつわる写真とふせんは、当時の人々の暮らしぶりを伝えます。  
そこから思い起こされる胆振東部地震での経験を、新しいふせんに書いて、教えてください。

わたしと東日本大震災 来場者が、さまざまな問いからできごとを振り返り、書き記します。

東日本大震災後の「ごはん」にまつわる写真とふせんは、当時の人々の暮らしぶりを伝えます。  
そこから思い起こされる胆振東部地震での経験を、新しいふせんに書いて、教えてください。

わたしと東日本大震災 来場者が、さまざまな問いからできごとを振り返り、書き記します。

東日本大震災後の「ごはん」にまつわる写真とふせんは、当時の人々の暮らしぶりを伝えます。  
そこから思い起こされる胆振東部地震での経験を、新しいふせんに書いて、教えてください。

わたしと東日本大震災 ― 来場者が、さまざまな問いからできごとを振り返り、書き記します。  
わたしと東日本大震災 ― 来場者が、さまざまな問いからできごとを振り返り、書き記す。



にちをわすれないためにセンター

ん!



一弾が今回の「まちセンまつり」。「わすれん！」は東日本大震災という大きな出来事に向き合い、と  
えるために開設されました。

の記録・市民協働アーカイブ」に、北海道から参加する